

みんなどうしてる？ セルフヘルプグループ (SHG) の運営

「自分と同じ経験を持つ人と出会いたい」「当事者のグループをつくりたい」「団体の運営で困ることがある」など、SHGの立ち上げや運営に関する悩みは多くあります。今回は、多様な領域のSHGから取り組みや課題をお話いただき、参加者のみなさんと分かち合いながら交流を深めたいと思います。SHGの活動に関心がある、運営を応援したい方も大歓迎です！市民社会にとって重要な存在であるSHG。一緒に考えませんか？

日時：2015年2月7日（土）17:00～20:00

会場：飯田橋セントラルプラザ 12階A会議室

出演：関谷隼人さん（NPO法人 ReBit）

田口まゆさん（NPO法人 Serenity）

土田義男さん・岩瀬俊男さん（NPO法人 悠声会）

内容：3団体それぞれの立ち上げの経緯、活動の様子をはじめ、SHGならではの運営上の秘話（良かったこと、苦労したことなど）をお聞きます。参加者のみなさんとも、想いや悩みをシェアしながら、これからの活動のヒントを一緒に考えます。

出演団体紹介

●NPO法人 ReBit（リビット）

LGBT*を含めた全ての子どもがありのままの自分でオトナになれる社会を目指し活動する当事者団体。『互いの違いを受け入れあえる社会』を次世代に創るため、若者をはじめとする幅広い世代に向けた活動を展開している。

*セクシュアルマイノリティ(性的少数者)の総称。この他にも多様なセクシュアリティが存在する。

●NPO法人 Serenity（セレニティ）

自死への差別偏見の問題について取り組む当事者団体。自死を「語れない、触れられない特別な死」から「語ることでできる死」へ、を目指して大切な方を亡くされた方のための分かち合いの場などの活動をしている。

●NPO法人 悠声会（ゆうせいかい）

喉頭癌、下咽頭癌等の手術により喉摘者になった当事者団体。人工喉頭を装着後も、よりよい発声ができ、充実した生活を送れるよう、全国各地で相談活動や交流、提言活動等に取り組んでいる。

★新たな出会いや発見の機会として、ぜひご参加ください。